

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	BV-1	調査位置				北緯	36° 20' 27.5817"											
発注機関	栃木県足利土木事務所				調査期間	2005-08-29 ~ 2005-09-07			東経	139° 26' 22.3488"								
調査業者名					主任技師				現場代理人	コア鑑定者			ボーリング責任者					
孔口標高	45.99 m	角度			方向			地盤勾配			使用機種				ハンマー	落下用具		
総掘進長	8.33 m										エンジン				ポンプ			

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	試験番号	採取方法	室内試験	掘進月日			
												深度	10cmごとの打撃回数			貫入量 (cm)										
													0	10	20											
(m)	(m)	(m)	(m)								(m)	(m)	0	10	20	30	(cm)									
1	44.54	1.45	1.45		表土 (SF)	暗褐			チャート礫を混入する礫混じり粘性土。礫は角礫状を呈し堅硬。礫径は 5mm ~ 3cm程度。やや有機質であり、草根の侵入が見られる。含水は低い。			1.15		9	9	10	28	28								
2					礫混じり粘性土 (C-G)	褐			崖錐堆積物。含水は低い。混入礫はチャートの角礫であり、 2mm ~ 3cmで分布する。			1.45					30	33								
3												2.15		10	11	12	30	41								
4	41.64	2.90	4.35		チャート (転石) (Chl)	淡褐灰			礫状~片状コアを呈する。風化程度は低く、岩片は堅硬である。			2.45					30	41						08/29		
5	40.99	0.65	5.00		礫混じり粘性土 (C-G)	暗灰~暗褐			チャート角礫を混入する。5.38 ~ 5.45mは新鮮堅硬なチャートの転石。			3.15		13	14	14	30	41								
6	40.36	0.63	5.63		チャート (Chl)	淡褐灰			片状のチャート礫を主体とする。礫は亀裂沿いに風化しているが比較的新鮮で堅硬である (ハンマー打撃で金属音を発する)。亀裂間には粘土を挟在し、帯赤褐色を呈する。			3.45					30	41								
7												4.15		17	18	5	25	>50						08/30		
8	37.66	2.70	8.33									4.40					50	>50						09/03		
												5.15		14	17	3	23	>50						09/05		
												5.38		50	0		50	>50						09/06		
												6.00					0	>50								
												7.15		17	22	11	5	25	>50							
												7.40														
												8.15		26	24	8	50	>50						09/06		
												8.33					18	>50								